

○神戸大学におけるダブルディグリープログラム設置状況 【2021年度】 2022年3月31日現在

※ - は、受入れ・派遣を募集していないことを示す。

\*1 授業料相互不徴収によるダブルディグリープログラム

\*2 受入れのみのダブルティグリープログラムであり、日本語学科の修士課程に在籍の学生を対象として、最短2年間で共同設置大学と神戸大学経済学研究科の修士号取得を目指すもの。

※3 インドネシア大学、ガジャマダ大学、バンドン工科大学とは、2006年に日本の国際協力銀行（当時）の円借款による支援を受けてダブルディグリー取得を目指す学生の受入れのために覚書を交わし、2007年秋学期から、受入れを開始した。その後、2014年度に一旦受入れを中断し、同年にインドネシア大学、ガジャマダ大学と覚書を更新、2015年度より再開している（バンドン工科大学については協定終了）。なお、これらの大学とは、別途私費でダブルディグリー取得を目指す学生の受入れを目指した覚書も締結している。

#### ※4 受入れのみの3年次編入のダブルディグリープログラム

※5 4研究科（法学・経済学・経営学・国際協力）による、受入れのみの修士課程のダブルディグリープログラム。

## ※6 授業料相互不徴収によるコチュテルプログラム